



東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

プロバスだより

第 306 号

2021 年 5 月 13 日発行

編集・発行 情報委員会

2020～2021 年度 テーマ 「コロナから身を守る」「温故知新：ふるきをたずねて新しきを知る」

第 306 回 例会

日 時：令和 3 年 4 月 10 日(木) 13:30～15:00

場 所：日本閣

出席者：37 名 出席率 67 %

(会員総数 56 名、欠席 17 名、休会 1 名)

1. 開 会 野口例会副委員長

第 306 回例会開催を告げ、配付資料の確認が行なわれた。

2. 会長挨拶 田中会長



コロナ禍の治まらない中での 4 ヶ月振りの例会にご出席戴き心から感謝申し上げます。振り返れば最初の緊急事態宣言発令が丁度一年前の 4 月 7 日でした。その後全世界的にも収束するどころか、ウイルスは変異しながら未だ猛威を振るっている状態で、東京オリンピックも開催が危ぶまれている現状です。只この間も我がクラブの大方の同好会は休むことなく、その活動を継続されており、私自身もコーラス他、充実したクラブライフを楽しませてもらっています。しかしながら暫くお会いできていない方々も多いので、それらのメンバーに個別に電話を差し上げ久しぶりにお話しをすることが出来ました。このような時期だからこそ、お互いに連絡を取り合い、楽しみを見つけて何とか交流の輪を拓げ、密を避けながら繋がって行きたいものです。

尚、本年 8 月 8 日、五所川原で実施が予定されている全日本プロバス第 9 回総会は、実施の方向で現地は準備を進めておられますが、東京オリンピックの開催が実現するか否か等、諸般の状況を見定めて、

ということになると思われます。その後、中止が決定しました

3. ハッピーコイン披露

河合副会長からハッピーコイン 17 件の披露がありました。(4～5 ページに掲載)

4. バースデーカード贈呈

4 月生まれの会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られた。

4 月生れの会員は 5 名ですが、当日出席された方は 4 名でした。(欠席は佐々木研吾会員)



写真左から 井上、内山、池田、塩澤各会員と会長

❖いつも手作りバースデーカードを作ってくださいる池田会員に『感謝の気持ち』をお贈りしました。

5. 幹事報告 持田幹事

① 長い間、例会ができず不便をかけました。毎月理事会を開き、そのたびに例会を開催できるか否かの検討を全員で話し決めてきたわけです。開催するかしないかの根拠は、市や公の判断に準拠してきました。緊急事態宣言下では、開催できなかったわけです。4 月は幸い解除されましたので、開催しましたが、現在のコロナの状況からすると 5 月の開催も怪しく見えてきます。でも、こうして皆さんとお会い出来るのは尚更素晴らしいことだなと感じます。

② 全日本プロバスの 2022 年に開催する八王子大会についての準備を始めました。準備委員会は一瀬委員長を中心に概要を描き始めたところです。今後、機会あるごとに、ご案内をして参りますので、よろしくご協力をお願い致します。

③ 残念なことです。間宮敏明会員、寺田昌章会員、荻島靖久会員の 3 名の方々が諸事情で退会されました。よって、現在 56 名、実働 55 名です。

③ 年会費と行事削減について説明させていただきます。今年になってコロナの影響で活動や行事は中止となりましたが、活動の費用発生はしており、かなりの費用が固定費化されているのです。この点をご理解して頂きたいと思います。そうは言っても、例会の 3 回の中止、サロンの中止などにより費用発生が削減されているのは事実です。従いまして、予算に若干の余裕が当初よりは出てきておりますので、どこかで、会員の皆さんへお返しすることを考えようとしております。差し詰め、6 月の例会の後に例年懇親会を開催しておりますが、皆さんには一部若干の負担をして頂き、多くの部分をクラブが負担する形で検討をしているところです。今後、理事会などで、協議しますので後日ご報告させていただきます。

6. 各委員会からの報告

(1) 例会委員会 野口副委員長

特に報告する事項はありません。

(2) 情報委員会 内山委員長

毎回お願いしておりますが、寄稿文の手持ちが不足しております。テーマは問いませんので、会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

今月のホームページへのアクセス回数は前月より増加し、224 件でした。

(3) 会員委員会 寺山委員長

特に報告する事項はありません。

(4) 研修委員会 飯田委員長

特に報告する事項はありません。

(5) 地域奉仕委員会 馬場委員長

1 月～4 月までの主要な報告事項は、次の通りです。

① 1 月 7 日に新型コロナに関する“緊急事態宣言”の発出(1 都 3 県)が決定したことを受け、同日の理事会で生涯学習サロンの中止を決定し、直ちにその事後処理に着手し 1 月中にはほぼ完了させました。結果として準備作業に注力し成果がゼロという残念な事態となりました。委員会メンバーのお骨折りに改めて感謝します。

② 予算面では、今期の学習サロンの支出は約 6 万 3 千円余、残金は約 33 万 7 千円弱となりました。その他、24 期に徴収し預かっていた学習サロン受講料(53 名分 15 万 9 千円)の返還を決め、4 月例会から関係会員への返還を開始しました。

③ 他の残務としては、サロン会員名簿のアップデートがあります。

(6) 交流担当

一瀬理事

3 点ございます。

① 延期されている第 9 回全日本プロバス協議会総会五所川原大会は現地サイドは予定通り 8 月 8 日実施の方向で進んでいます。ただ会長挨拶にありましたように感染拡大が予断を許さず全日本事務局としては状況判断を先送りし最終決定をぎりぎりまで遅らせるということです。当クラブからは 16 名参加予定です。

② 他クラブのプロバスだよりなど回覧しておりますが、どのクラブもコロナ感染拡大で例会など諸活動に苦慮していることがうかがえます。

③ 全日本プロバス協議会のホームページの会員クラブ交流サイトに当クラブのプロバスだよりを掲載しております。これは全国のプロバスクラブの誌上での交流を図る目的で始められたものですが参加しているのはまだ 2～3 クラブにとどまっています。機会があったらご覧になってください。

(7) 宇宙の学校 下山プロジェクトリーダー

特に報告する事項はありません。

(8) 25 周年記念事業報告 杉山 友一

25 周年記念事業につきましては、内山会員のお骨折りで、記念誌の発行は無事完了致しましたが、昨年 10 月 3 日の学園都市センターでの行事の仕上げとして予定していた先月 3 月 21 日のいちょうホールでの

音楽祭は、現状のコロナ禍で中止いたしました。当月22日には実行委員会を開催して、改めて事業の全体像の総括をする予定です。何れにしても、コロナの収束を願うばかりでございます。ご理解賜れば幸いです。

(9)「東京八王子2022」報告 一瀬 明

例会が開かれず報告が遅くなったことお詫びいたします。来年の全日本プロバスの八王子総会の準備委員会を立ち上げることは総会で決定いたしておりましたが、2月の理事会で私が委員長に指名され微力ながらお受けいたすことにいたしました。

委員会の構成を任せましたので、別紙のとおりの方々に委員・相談役をお願いいたすことにいたしました。直接お願いいたす機会もなく失礼ではありますがよろしくご協力をお願いいたします。

第1回の準備委員会を3月4日に開催し別紙下部のとおりで大枠を決定いたしました。これから細部を詰めてまいりますその都度ご報告いたします。是非会員の皆様の絶大なるご理解、ご協力を得て全国からのお客様を八王子にお迎えしたいと思います。よろしくお願いいたします。

7. 25周年を振り返って

交流担当 浅川 文夫

高齢化社会における、プロバスクラブの意義を理解して、当クラブ発足当時より活発な活動しております。プロバスだより第242号に、長崎壱岐ロータリークラブ会報を載せてあります。当時の様子がよくわかります。



2004年5月 全日本プロバス協設立。立川会員副会長に選出される。

2009年 会則を変更し、交流担当理事を置く。

プロバス活動の活性化のための交流会は、数多くありますが、全日本プロバス協議会の為に、当クラブがホストクラブとして行った交流会は次のようになっております。

2007年11月29日 第1回関東ブロック交流会
TPK 御茶ノ水ビジネスセンター

参加者 8クラブ 40名

2008年11月27日 第2回関東ブロック交流会

TPK 八重洲ビジネスセンター

参加者 8クラブ 50名

2009年11月15・16日 全日本プロバス協議会理事会
京王プラザホテル八王子

交流会 参加者 17クラブ 72名

2011年11月17日 第1回関東中央地区交流会

八王子エルシィ 参加者 8クラブ 51名

2016年9月5日 第1回東日本ブロック交流会

八王子エルシィ 参加者 10クラブ 108名

2017年11月18日 第2回東日本ブロック交流会

八王子エルシィ 参加者 13クラブ 102名

2022年 予定 全日本プロバス協議会第10回総会
ホストクラブ 東京八王子プロバスクラブ

2012年7月 隣接している東京多摩、日野、八王子プロバスクラブの一層の親睦・交流を深めるため、3クラブ交流連絡会議を開催、以後2年間定期的に会議を行いました。

卓話の交換、同好会の交流、各クラブの行事に参加して交流を深めています。

コロナのために、交流禁止されて、改めてその重要性を痛感しています。

8. 同好会活動報告

古典芸能鑑賞会

幹事 内山 雅之

スタートしたのは、平成28年(2016年)です。古典芸能の範囲は広く、雅楽・能・狂言・歌舞伎・文楽・それに日本舞踊・邦楽・落語・講談・浪曲などがあります。先ず、能・狂言の鑑賞を主体に、順次鑑賞範囲を広げていくことを目標としました。

実際に鑑賞した能・狂言・文楽の主なものを紹介します。

能では、歌舞伎「鳴神」の原典となった『一角仙人』。歌舞伎にも採り入れられている『船弁慶』。娘道成寺など歌舞伎界でおなじみの『道成寺』。歌舞伎「勧進帳」の原典である『安宅』など。

狂言としては、聳入りにおける失敗談を扱った作品『舟渡賀』。夫婦の情愛を描いた作品『箕被』など。

文楽では、歌舞伎でも採り上げられている『摂州合邦辻』です。

能楽の楽しみ方

能楽は難しいとか、鑑賞していると眠くなるとか

言われております。楽しみ方に特に定めなどありません。ご自分の興味あるところから入るのが良いといわれています。その手がかりとして、能面、装束、音楽、謡曲などがあります。

(1) 能面

仮面劇である点が能の演劇的特徴のひとつ。シテとツレ、時には間狂言が面をつけます。ワキが面をつけることはありません。演目により面が変わりますので楽しみでもあります。

(2) 装束

女性の場合、豪華な衣装としての唐織、縫箔等があります。その他に長絹という袖幅の広いものもあります。男性の場合、狩衣、指貫などがあります。能面の楽しみ方とは異なり、華麗な衣装で登場する演者を鑑賞できる楽しみもあります。

(3) 音楽

囃子方と地謡があります。楽器としては、笛・小鼓・大鼓・太鼓があり、地謡はコーラスとしての役割があります。西洋音楽とは異なる和風の音楽を楽しむことができます。

(4) 謡曲

謡曲を吟誦するには能楽師の指導を受けることが必要ですが、謡曲の詞章には和歌や漢詩の一部を取り込んで一曲が組み立てられていることから、謡わなくても謡曲の内容を調べてみる楽しさもあります。今後の取り組み

出来るだけ親しみやすい、理解しやすい演目を選んで、年に2~3回ほど企画します。是非一度鑑賞していただければと思っております。

会員登録はしておりません。お気軽にご参加を！

9. プロバス賛歌

起立・黙唱

10. 閉会

4カ月ぶりの例会、お疲れ様でした。笑顔のこぼれる例会は良いものですね。

コロナの蔓延は相変わらずの状況ですが、最近変異型のウイルスの流行も危惧されています。まだまだ油断のならない状態が続くと思わ



河合副会長

れます。

日常生活でもプロバスクラブの活動においても、まずは健康が基本となります。健康あつての日常であり活動であります。是非日々の健康管理にご留意され、また来月の例会を楽しみにしたいと思います。

以上をもちまして4月の定例会を終わります。



◆いつも誕生カード贈って下さる池田さんへ。誕生日おめでとうございます。いつまでも若くお元気で！！
野口 浩平

◆今年初めての例会開催となりました。やはり皆さんとお会いできることは素晴らしいです。元気なみなさんにHappy！
持田 律三

◆コロナウイルスの終息が見通せない中での誕生日、心から喜べませんね。でも気を取り直し、少しでも長生きできるよう頑張りましょう！
内山 雅之

◆久しぶりの例会ですね。皆様にお会いできるのがこんなにうれしいとは！ ハッピーです。

馬場 征彦

◆孫が警察学校に入校しました。警視庁に奉公することとなり祖父母にとりまして、こんな嬉しいことはありません。

井上 克

◆本日は久しぶりの例会です。皆様お元気ですか。

山口 三郎

◆自分史「おおすず こすず」を本にしました。

橋本 鋼二

◆今年もコロナ禍をよそに我が家の桜の大木が沢山の花をつけました。居ながらにお花見をしました。桜の木に来る小鳥達もかわいいうすきな声で朝を知らせてくれます。ハッピーな気分をいただける幸せに感謝です。

飯田富美子

◆来年秋、ホストクラブとして全国大会を催します。「東京八王子 2022」キックオフミーティングがスタートしました。全員参加の会としてもりあげていきましょう。

飯田富美子

◆孫息子が自身の希望する海外の大学にアクセプトされた。将来の針路もしっかり描いており、ジジバカだけど本当にハッピー。

一瀬 明

◆4ヶ月ぶりの例会開催にこぎつけることができ

本当にハッピー。組織としてもたなくなる瀬戸際だった感じがする。ともかく皆さんとお会いできて最高の午後です。

一瀬 明

◆今日はお釈迦様の「花まつり」の日、プロバスは今年初めての例会、皆様に会える喜びをかみしめて！！

杉山 友一

◆コロナ騒ぎの納まらない中、皆様ようこそお集り頂きました。風通しのよい明るい会場での久し振りの例会、ごゆっくりお楽しみ下さい。

田中 信昭

◆人工衛星でコロナ菌だけ殺す薬を地球に散布。3日後地球上のコロナ菌が全部消えた。バンザイと言って目が覚めた。4月1日の夜見た夢……正夢であったらなあ。

立川富美代

◆久し振りの例会。皆様の元気なお姿にお会いできてうれしく思います。世界中が苦しんでいるコロナウイルス。みんなで気をつけよう。

有泉 裕子

◆アメリカの娘と孫も修行に行っている孫息子も全員コロナにはならず健康なことで幸せを感じます。

土井 俊玄

◆4ヶ月ぶりの例会の開催です。大いに楽しみましょう。これからも安心して例会が開かれるよう願っています。

河合 和郎



巡り合った街の名医

馬場 征彦

—初めに—

最初にその症状に襲われたのは6年半も前の事でした。次第に頻度と症状が進み、八王子市内の2つの有力病院を受診しました。しかし診断結果はいずれも「異常なし」だったのです。症状はその後も続き、思いあぐねて飛び込んだクリニックでは、「コロンブスの卵」的、或は「生活の知恵」的発想による見事な手法と診断で病名が判明しました。実に発症から1年8ヶ月後でした。私はその診断を下された医師こそ「街の名医」だと感謝し頼りにしています。



<起> 発端は2014年11月でした。夜9時頃突然、初めて経験する症状（脈が弱く速い、脱力感と不安感で横臥せざるを得ない状態が2~3時間続く）に

襲われ、東京医科大学医療センターの夜間診療に駆け込みました。しかし症状は既に消えており、医師からは循環器専門病院の受診を勧められました。その後も何度か同じ症状が出たので2015年3月に評判の“C循環器病院”を受診しました。心電図測定、心肺機能テスト（計測しながらランニングマシン上を走る）、手足の血圧バランス測定、心電計の24時間装着などを経た診断は、何と「異常なし」だったのです。

<承> 次はゴルフ中でした。2015年10月紫CCあやめコース（千葉県・職場のOB会コンペ）の13番ホールで2打目を打った瞬間に同じ症状に襲われ、その場にへなへたとへたり込んでしまいました。同じ組の仲間が「呂律がおかしかった」というので翌日“脳神経系では有名なL病院”を受診しました。しかし心肺機能テスト（前記と同じ）と頭部MRI撮影を経た後の診断は、再び「異常無し」だったのです。

翌11月津久井GC（大学同窓会コンペ）の後半でも同じ症状が発生し、これは何とかしなければとの思いに駆られましたが、2つの専門病院を受診した経緯もあり、途方に暮れてしまったのでした。

<転> その後6ヶ月間は何事もなく、ゴルフは回数を減らしたがプレイ出来たので一時的かなと甘く見ていたところ、2016年6月の夕刻に自宅で2回も同様の症状に襲われ、翌7月には相武CCの後半でも同じ発作に襲われてしまいました。

さすがに病状が進んでいると深刻に考えました。八王子市内の名高い病院の診断で“心肺と脳が正常なら「過呼吸」かな”と自分勝手に判断し、インターネット検索でたどり着いた市内のPクリニックを“藁をもつかむ思い”で同年7月9日に受診しました。

過去の症状を訴えたところQ先生は、最初に心電図・次いで負荷（階段の上り降りを2回）をかけた後の心電図を採って診断し、やはり「異常なし」とされました。しかしそれから「街の名医」の本領だったのです。「心拍の異常は症状が出ていなければ正確な診断は無理だ。発生している現場で捉える必要がある。」と言われ、「市販の携帯心電計の利用」を勧められました。そして直ちに携帯心電計を購入したのです。

<結> 果せるかな、直後の7月17日に自宅で同じ症状が再発してデータ（心電図の波形）が採取でき

ました。その後Q先生の所に持ち込んだところ、一見して直ちに「心房細動」との診断が下されたのでした。

「心房細動」の主原因は加齢とのことですが、直ちに大事に至ることはないそうです。病名が確定した後根本治療薬はないものの、血栓を抑えるための血液サラサラ薬や発生頻度を抑える薬の種類等を調整して頂き、2016年の暮れ頃には発生頻度や症状が改善し、心身がかなり安定して来たのでした。

約2年もの間、活動を大幅に縮小せざるを得ませんでしたが、2017年からは用心しながら少しずつ再開して行き、2年後の2018年暮れにはゴルフ・海外旅行を除いては何とか元の活動に戻れたのでした。

終わりに

今改めて振り返ると、海外旅行は2019年9月実に4年半ぶりに実現し、(年40回ベースだった)ゴルフは2020年によく19回にまで回復出来たのでした。

発端から4年もの間、色々な活動を自粛あるいは縮小せざるを得ませんでしたが、一定の活動が可能な健康レベルにまで回復出来たのは、まさに「街の名医」Q先生のおかげなのです。今では持病の喘息も含めて毎月診ていただいています。

「街の名医」に巡り会えた幸運に感謝し、Q先生に大いなる敬意を表する次第です。

追記

実はこの間に、もう一つの幸運にも恵まれました。2017年6月会員の久野様の勧めで「セカンドオピニオン」として国立病院機構相模原病院を受診し、「喘息立て直し治療(入院)」を受けました。この治療で喘息が慢性化していることが判明し、新しい治療によって症状が大きく改善しました。それに伴い「心房細動」の頻度と症状も更に改善したのです。久野様の助言と「セカンドオピニオン」に感謝、感謝です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

クマガイソウ

アツモリソウと共に膨らんだ形の唇弁を昔の武士が背中に背負った母衣に見立てて、源平合戦の熊谷直実と、一の谷の戦いで彼に討たれた平敦盛にあてたものと言われていることはご存じのことと思います。



我が家の狭い庭に今年もクマガイソウが咲きまし

た。昨年と異なり今年は花の数は少なく15輪ほどです。(M.U)

俳句同好会便り

私の一句(四月の句会から)

河合 和郎

4ヵ月ぶりの集まったの俳句会であった。いつもにも増して談論風発の賑やかな句会となり、舌鋒鋭い句評が飛び交った。皆満足げに帰路につく句友の姿が印象的だった。

こぶし咲く横のベンチに老夫婦 野口 浩平

公園の昼下りの一景か。何気ない日常の光景にそれぞれの人生を感じさせる一瞬がある。

侘助や季越えてなほ散り重ね 東山 榮

侘助は冬から春へと咲き継ぐツバキ科の花。作者はその息の長い姿を「季を越え」鑑賞する。

穂の芽の味噌和え旨し山の宿 矢島 一雄

「味」の兼題句。露味噌や菜花漬など春先の新芽は皆苦味を伴う。味噌和えとは上手い着眼。

やはらかに新緑まとふ大地かな 池田ときえ

初夏の若緑に包まれた里山の風情を平仮名で平明に活写。正に命が萌えたつ大地なのである。

春風や霞む屋島の船溜り 田中 信昭

歴史に名高い源平合戦の古戦場屋島。大景に小景を重ねて名勝の地を一句にまとめた。

春の夕深き紫たなびけり 下山 邦夫

春の夕景の微妙な色合いの変化を捉えた。俳句は自然の観察と受け止める感性の冴えが命。

久遠寺や枝垂桜の地を覆ふ 飯田富美子

久遠寺の境内にある枝垂れ桜の盛りの様子を詠んで佳句。下五の措辞でこの句は決まった。

家事分担水のぬるむを実感す 馬場 征彦

生活感の溢れる一句。台所の水仕事で春の訪れを知る主婦を演じる主夫。家事分担が悩ましい。

落椿残す和尚の竹箒 河合 和郎

椿の花は地に落ちて椿。庭掃除の和尚は地上を飾る椿の花を楽しんでいるのである。

編集後記

3ヵ月ぶりの例会は滝と若葉の美しい日本閣でおこなわれました。 有泉裕子

